

令和2年度 作物栽培管理情報 号外

令和2年7月発行
大分県中部振興局 集落営農・農地活用班

○水害後の水稲の管理について

① 畦畔からの漏水が心配される場合

畦波板を設置し、漏水を少しでも防ぎましょう。

② 土砂や汚濁水で冠水した場合

排水を行い、葉先だけでも水面に出しましょう。

・汚濁水が流入した場合

新しい水を流し込み、汚濁した水を流し出しましょう。
可能な場合は、濁りがなくなるまで掛け流しを実施！

・土砂で稲が埋没した場合

埋没場所に畦波板等を設置し土砂の拡散を防ぎましょう。
収穫後、土砂を可能な範囲で取り除き深耕を！

①と②の対応は早急に行いましょう！

③ 被災田の今後の管理について

肥料や農薬の成分の流亡が考えられます。

- ・**追肥** ……葉色を確認し適宜行いましょう。
- ・**病害虫** ……白葉枯病やウンカ類の発生が予想されます。
発生を確認した場合は、防除を行いましょう。
- ・**雑草** ……後発の雑草が発生しやすくなります。
水管理等を丁寧に行いましょう!!

○低温と日照不足対策

低温・寡日照により、軟弱徒長傾向で生育しています。
間断灌水と浅水管理を励行し、茎の伸長を抑制しましょう。
低温・寡日照では、いもち病の発生が懸念されます。
発生を確認した場合は、薬剤防除を行いましょう。